



4日(木)の参観日には、

暑い中、多くの皆さんに参観いただき、ありがとうございます。救急法の講習では、貴重な情報や演習が行われました。参加された皆さん、指導してくださった皆さんもありがとうございます。

さて、夏休みまであと十日ほど。今年はどうな夏にするか、見通しはいかがですか。こつこつと毎日続けることや時間をかけた作品作りなど、夏休みにしかできないことは探せばいっぱいあります。3年生以上は、今年、タブレットを使って工夫することもできますね。それを題材に作文や自由研究のかたみにすれば、もっと充実した夏休みになるでしょう。何も残らない夏休みは寂しいものです。ぜひ、思い出やかたに残る夏休みに向けて、ご家庭でも話題にしたいです。

この夏も子どもを危険から守る

① ○○ちゃんの話っていつも面白くない

② 写真マジかっこいい。私の写真も送るね。

③ 悩みはよくわかるよ。今度会って話さない？

④ おいしい！次のアイテムを手に入れば勝てるよ。

右の4つのやりとりは、どれもSNS上のトラブルや事件につながる例です。これらに潜む危険は何か？ぜひお子さんと読み解いてみてください。

私の記憶に残る事件があります。人吉市の県立高校の女子生徒が行方不明となり、のちに遺体で見えられました。逮捕されたのは静岡に住む47歳の男。きっかけはSNS。都市も地方も関係なく、子どもが危険にさらされていることに強いショックを受けました。この事件は今から十年も前の出来事。今では小学6年生の約6割が自分専用の携帯を持っていると言われています。

「うちの子は大丈夫」なんてのんきな考えはやめた方がいいですよ。小林の子は相当地なり取りをしています。知らないのは親と先生だけです。」

これは、兵庫県立大学の竹内和雄先生の言葉です。先生は、講演をする地域の実態を調べた上でお話をされるので、まさにリアル。これも実は四年前のお話です。

では、つい最近の出来事を紹介しましょう。下校の時間。紹介しましょう。先生のその携帯「校長先生え。先生のその携帯って 아이폰ですかあ？」
「アンドロイドですかあ？」
「アイフォンは今15でしょ。」
「私14でもいいんだけどなあ。」
誕生日に買ってもらえないか
なあ...」
携帯の機種や機能に全く無頓着な私は、後で価格を調べて驚きました。窓越しにおしやべりしたのは、かわいい3・4年生の子どもたちです。

黒電話が近所に一台の時代に生まれ、30歳になるころ初めて携帯を手にしたオジさんと今の子どもとは、感覚が違うのは当たり前でしょう。だからこそ冒頭の例などを見聞きすると、オジさんの心配は尽きないのです。

機器やアプリの開発・発展はめまぐるしく、しかも魅力的です。学校の指導はこれらに追い付かないのが現状です。それでも子どもを守るために、私たちにできることはないのでしょうか。

○いつも相手の立場や気持ちを考えた行動ができる。
○短絡的な判断をせず、結果を見通して行動する。
○家族のコミュニケーションを大切にしてお話できる。
スマホを手にする子どもたちが、この中のひとつでも身に付けていければ、大切な命を救えるかもしれせん。今年も楽しく安全な夏休みとなるようオジさんは祈ります。

夏休み中のおねがい

万が一、夏休み中にお子さんの事故や入院、ご家庭に災害等が発生した際には、学校(もしくは市学校教育課 23-0424)にもご連絡をいただくと助かります。

[学校スナップ]



小林地区更生保護女性会のみなさんから、ボランティアで手作りされた七夕飾りをいただきました。

「更生保護」というのは、犯罪や非行をした人が

地域社会で立ち直れるように支援したり、

非行や犯罪のない社会づくりのために活動したりする国の事業です。

この七夕かざりも、明るい社会づくりの一環として、毎年いただいております。

今年もありがとうございました。(6月25日)